平成１８年度 伊丹市行政評価　～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから５年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133601		
事務事業名	外国語・日本語講座事業	担当部局・課	市民部 国際・平和課
事業内容	市民対象に中国語・ハングルの講座を開講し、日本語の不自由な外国人市民にボランティア指導による無料の日本語教室を開講する。	事業開始(予定)年度	昭和61年度
		事業終了(予定)年度	―
評価結果	B	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。	

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点：支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現
		項目：きめ細かな地域福祉の推進
		施策：国際交流の推進

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

事業の目的	外国人市民には、日本語をマスターし地域に溶け込める環境づくりを目指し、日本人市民には近隣アジア諸国の言語を学習することにより、近隣国への親近感と国際感覚を醸成する。	予算費目（複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	（款） 総務費 （項） 総務管理費　（事項） 国際交流推進経費 （目） 企画費

事業費等の概算

平成17年度（決算）				平成18年度（予算）			
事業費	―	財源内訳		事業費	―	財源内訳	
		国・県補助金等	―			国・県補助金等	―
		市　債	―			市　債	―
		その他（使用料等）	―			その他（使用料等）	―
		一般財源（市税等）	―			一般財源（市税等）	―
投入人員	0.20人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次の様になります。=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.20人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次の様になります。=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
人件費	1,713千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	1,713千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
経費合計	1,713千円			経費合計	1,713千円		

活動指標

		計画と実績			
指標名（単位）	受講希望者の受講率（%）		年度 / 区分	H17年度	H18年度
意味・算式等	外国語・日本語講座受講応募者数／実際受講者数×100		計画値	100	100
			実績値	100	